



## 受け継がれる感謝、100回を迎えた「五庄屋追遠会」

筑後川流域の干ばつに苦しむ農民を救うため、江戸時代（寛文4年・1664）、吉井町江南の5人の庄屋が中心となり灌漑用水「大石長野水道」を構築し、筑後川から水を引いたことで、米麦の生産が盛んになりました。先人の偉業を称えるべく、通水が始まった5月2日、「五庄屋追遠会」が地域で受け継がれてきて、今年100回を迎えました。（写真＝5月2日、江南小学校体育館）



100回を記念して、女性グループ白壁レディース21による紙芝居「五人の庄屋」が披露され、参列者から惜しめない拍手が送られました。わかりやすい絵やメンバーの迫真の表現を通して、五庄屋が灌漑事業を命がけで企画し、農民の協力を得ながら完遂したことがよく理解されました。

（目次）P1 五庄屋追遠会 P2 市議会議員 P3 職員採用試験 P4, 5 財政状況 P6 協力隊紹介、花火大会協賛 P7 人権セミナー、予防接種 P8 住民健診 P9 粗大ごみ回収 P10 まごころ製品販売会 P11 集いの場 P12 男女共同参画センター講座 P13 男女共同参画講演 P14 癒しの旅先人、森林セラピー P15 広域圏婚活、まちなみ無料相談会 P16 青少年弁論大会、国民健康保険税 P17 認知症カフェ、ごみを捨てないで P18 火災予防、119番通報 P19 図書館 P20 まちの話題 P21, 22 暮らしの情報 P23 有料広告 P24 お誕生日